

信州健児の歌

丸山 隆平 (9 組)

子どものころから運動はさっぱりダメだったが、歌は好きだった。一度聞いた歌はほとんど歌えた。だから応援練習も応援歌はすぐ覚えたので、あまり怖くなかった。それどころか「お前はよく覚えてきたので、座っていていい」と先輩応援団員に言われたほどだ。

大学時代の寮(千曲寮)ではハワイアンバンドに入れられて、あちこちのダンパに行った。

長じて、記者時代はカラオケで楽しませてもらった。連れて行ってくれる取材先の人の持ち歌を歌わないことが「礼儀だ」と教えられ、その結果、覚えていた小林旭の歌だけ歌うようになった。

ところで関東同窓会の総会に出るようになって、大先輩方が応援歌を歌っているのを聞いて、思い出したことがあった。

小学校の4年から運動会で騎馬戦や棒倒しをやる。その時の歌だ。

「1 東^{けん}千山の嶮に拠り 西^よ万岳の雲に攀じ 六十^{ただなか}余州の直中に 高く建てたる国一つ

と^{となん}南の翼打ち^と拵げ 見下ろす姿の雄々しさや

2 煙は高さ浅間山 流れは遠し千曲川 四時の野辺には花匂い 四季の山には月清し

天^{かんばせ}の眉目^{うらわ}地の姿 あな美しの国なれや」

女子は確か、「信濃の国」でダンスをやった。ではこの歌は何だろうか？と疑問に思っていた。

実はこれ、旧上田中学の応援歌の一つで、上田高校を卒業した教師たちが自分の教え子に歌わせたことから、東信地区の小中学校に運動会の時の歌として伝わっていたようだ。

先日の65期同期新年会の2次会での話でした。

参考:

http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref_view&id=1000025446

(2014年2月8日記)

2014.2.7 同期会にて

